

JIS

原油及び石油製品－発熱量試験方法及び 計算による推定方法

JIS K 2279 : 2003

(PAJ)

(2007 確認)

平成 15 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 入 裕 夫	東京医科歯科大学
(委員)	大 久 泰 照	昭和シェル石油株式会社
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	木 原 幸 弘	社団法人日本化学工業協会
	桐 村 勝 也	社団法人日本塗料工業会
	高 野 忠 夫	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 信 弘	東京農工大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	古 川 哲 夫	財団法人日本消費者協会
	堀 友 繁	財団法人バイオインダストリー協会
	楨 宏	日本プラスチック工業連盟

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 28.4.18 改正：平成 15.3.20

官 報 公 示：平成 15.3.20

原 案 作 成 者：石油連盟

(〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 9-4 経団連会館 TEL 03-3279-3811)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長代理 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、石油連盟 (PAI) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS K 2279** : 1993 は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 8217** : 1996 及び **ISO 3648** : 1994 を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS K 2279 には、次に示す附属書がある。

- 附属書 1 (参考) ゲーリュサック法によるベックマン温度計の補正方法
- 附属書 2 (参考) 総発熱量からの真発熱量推定方法
- 附属書 3 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	2
3. 定義	2
4. 試験方法の種類	3
5. 発熱量試験方法	3
5.1 試験の原理	3
5.2 発熱量試験器	3
5.3 標準物質	5
5.4 試薬	6
5.5 試料採取及び調製方法	6
5.6 試料の準備	6
5.7 試験の手順	7
5.8 熱量計の熱当量の測定	8
5.9 計算方法及び精度	9
5.10 試験結果の報告	10
6. 総発熱量推定方法	10
6.1 総発熱量推定方法の原理	10
6.2 総発熱量の推定方法の種類	10
6.3 推定の手順	10
7. 真発熱量推定方法	13
7.1 真発熱量推定方法の原理	13
7.2 推定方法の種類	13
7.3 推定の手順	14
附属書 1 (参考) ゲーリュサック法によるベックマン温度計の補正方法	18
附属書 2 (参考) 総発熱量からの真発熱量推定方法	20
附属書 3 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	21

原油及び石油製品－発熱量試験方法及び 計算による推定方法

Crude petroleum and petroleum products－Determination and estimation of heat of combustion

序文 この規格は、1996年に第2版として発行された ISO 8217 : 1996, Petroleum products－Fuels (class F)－Specifications of marine fuels 及び 1994年に第2版として発行された ISO 3648 : 1994, Aviation fuels－Estimation of net heat of combustion を元に、対応する部分については、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格にない規定項目 [この規格の 5.及び 7.3.2 a)] を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項又は原国際規格にはない事項である。変更の一覧表をその説明を付けて附属書 3 (参考) に示す。

1. 適用範囲 この規格は、原油及び石油製品の総発熱量を改良形燃研式ボンベ形熱量計を用いて測定する方法、並びに原油及び石油製品の総発熱量並びに石油製品の真発熱量を試料の性状から計算式を用いて推定する方法について規定する。

備考1. この規格は、危険な試薬、操作及び装置を使うことがあるが、安全な使用方法をすべてにわたって規定しているわけではないので、この試験方法の利用者は、試験に先立って、適切な安全上及び健康上の禁止事項を決めておかなければならない。

2. 自動試験器を用いてもよい。ただし、自動試験器によって得られた試験結果に疑義が生じた場合は、この試験方法によって得られた結果による。

3. この規格の対応国際規格を表 1 に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

表 1 対応国際規格

試験方法	適用油種	対応国際規格
総発熱量 推定方法	C 重油	ISO 8217 : 1996 Petroleum products－Fuels (class F) －Specifications of marine fuels (MOD)
真発熱量 推定方法	ナフサ、灯油	ISO 3648 : 1994 Aviation fuels－Estimation of net heat of combustion (MOD)